



GOVERNORS Monthly Letter

# ガバナー月信

Revival



4 2026  
月発行  
vol.10

2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

## GOVERNOR'S Monthly Letter



よいことのために  
手を取りあおう

Rotary 



フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

# ガバナー月信 vol.10 目次

## 会長エレクト研修セミナー・地区研修・協議会、財団・米山セミナーの状況・報告



会長エレクト研修セミナー及び地区研修・協議会、  
財団・米山セミナーの状況・報告

国際ロータリー第 2510 地区  
2026-2027 年度 地区代表幹事

**武部 幸紀** (札幌 RC)



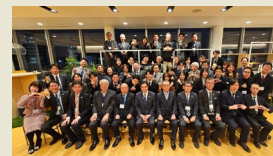
## 第 2 回ロータリーフェローズワークショップ報告



第 2 回ロータリーフェローズワークショップ報告

国際ロータリー第 2510 地区  
ロータリーフェローズ委員会 委員長

**鄭 子龍**  
(札幌モーニング RC)



## IM 報告

### 第 10・11 グループ合同インターシティーミーティング (IM) 開催の報告



国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度  
第 10 グループ ガバナー補佐

**堀田 剛史** (函館 RC)



国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度  
第 11 グループ ガバナー補佐

**吉村 昭夫** (函館東 RC)

## 米山記念奨学生修了式報告



「米山記念奨学生終了式」報告

国際ロータリー第 2510 地区  
地区米山記念奨学・学友委員会 委員長

**三浦 信一**  
(札幌清田 RC)



## OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ 地区公共イメージ向上委員会より	9p
■ PETS 及び地区研修・協議会の状況・報告	2p	■ ハイライトよねやま	10p
■ 第 2 回ロータリーフェローズワークショップ報告	3p	■ コーディネーター NEWS	12p
■ 第 10・11 グループ合同 IM 報告	4p	■ 2 月会員数・例会数報告	16p
■ 米山記念奨学生修了式報告	5p	■ 地区カレンダー 4 月・5 月	17p
■ 2025-26 年度 第 23 回 RYLA セミナー開催のご案内	6p	■ 事務所移転のお知らせ	
■ 2 月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	8p	/ ガバナー事務所からお願い	18p



### 今月の写真「旧室蘭駅」

重厚な石造りが時代の誇りを語る旧室蘭駅。鉄と港の街・室蘭の発展を静かに見守り続けてきたその佇まいには、往時の賑わいと人々の営みが刻まれています。歴史と風格が融合する、まさに街の記憶そのものであります。

〔撮影日〕平成 23 年 8 月 28 日：玉井ガバナー



## 命をつなぎ、夢を描く — リバイバル原点回帰の精神とともに —

国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度 ガバナー

**玉井 清治**  
(函館亀田 RC)

寒さ厳しかった冬も過ぎ、ようやく暖かな春が訪れました。各地から桜の便りも届き、心が弾む季節となりました。会長・幹事、会員の皆さまには、お変わりなくご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本年度も残り3カ月です。いよいよ次年度に向けた準備が本格化し、クラブ内も活気に満ちている頃ではないでしょうか。4月は「母子の健康月間」です。世界では今なお、疾病、栄養失調、医療・衛生環境の不備により、毎年490万人もの5歳未満の子どもたちが命を落としています。はしか、マラリア、肺炎、エイズ、下痢性疾患など。これらの予防ワクチンや適切な治療により、多くの命を救うことができます。また、サハラ以南アフリカでは40人に1人の女性が妊娠・出産に関連する合併症で亡くなっています。ロータリーは、母子の健康向上と5歳未満児の死亡率削減を目指し、世界各地で支援プロジェクトと人材育成に取り組んでいます。ぜひ、皆さまのクラブでもグローバル補助金を活用し、母子の健康を守るための奉仕活動に挑戦していただきたく存じます。

日本のロータリーも、105周年を迎えます。しかしながら、世界人口が増え続ける中で会員数は停滞、地方クラブの高齢化と弱体

化、急速な社会変化に対する適応の遅れという厳しい現実も直視しなければなりません。国際ロータリーは改革を進め、クラブ運営の柔軟性と自主性を大幅に認める方向に舵を切っています。この転換点において、私たちに求められているのは、「原点に立ち返り、未来への夢を語り、そこから現実を刷新していくこと」に他なりません。

クラブの将来ビジョンを、会員全員で徹底的に語り合い、共有し、覚悟をもって新たな一歩を踏み出すときが来ています。

本年度も残りわずかとなりました。地区テーマ「リバイバル原点回帰」を胸に、最後まで力強く歩みを進めてまいりましょう。皆さまのご健勝と、クラブのさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

よいことの  
ために  
手を取りあおう

Rotary 



## 会長エレクト研修セミナー及び地区研修・協議会、 財団・米山セミナーの状況・報告

国際ロータリー第 2510 地区  
2026-2027 年度 地区代表幹事

武部 幸紀 (札幌 RC)

2026 年 3 月 7 日（土）と 8 日（日）の 2 日間にかけて、古野重幸ガバナー年度の会長エレクト研修セミナー及び地区研修・協議会、財団・米山セミナーが、札幌パークホテルで開催されました。

初日は 13 時から古野ガバナーエレクトによる点鐘、ホストクラブの札幌東 RC の梅澤会長による開会宣言の後、国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱で開始されました。会長エレクト・次期幹事のほかに、地区役員や次期ガバナー補佐、次期地区委員長など合わせて約 190 名が出席しました。

はじめに、古野ガバナーエレクトからアメリカで行われた国際協議会報告と次年度ガバナー方針が発表され、次に次期地区委員長から地区委員会活動計画が報告されました。続いて福井次期地区ラーニングファシリテーター（PG）より「クラブ会長の役割と責務」について講演して頂きました。

その後、休憩を挟み会長エレクト・次期幹事は各 6 グループに分かれ、次期ガバナー補佐がファシリテーターとなる分科会で、クラブの現状・課題・活性化などについて 1 時間 20 分議論されました。分科会の内容は後日、周知する予定です。

分科会終了後は嵯峨次期地区ラーニング委員会アドバイザー（PG）からの講評、中田次期地区大会実行委員長による次年度地区大会案内、古野ガバナーエレクトによるドバイ国際大会の案内と点鐘で初日の日程を終了しました。

終了後は会場を移動して初日の労をねぎらうとともに 2 日目の英気を養うための懇親会が開催され、福井パストガバナーの乾杯から和やかに会が進み、齋藤ガバナーノミニの閉会挨拶とロータリーソング「手に手つないで」を皆で輪になって歌い終了となりました。

2 日目は、9 時 30 分から古野ガバナーエレクトの点鐘から始まり、山口次期地区危機管理委員長による危機管理セミナーが行われました。その後、私から次年度の地区活動の説明をし、指川次期地区財務委員長から審議事項の次年度地区予算案について説明してもらい、会長エレクト・次期幹事の皆様から承認を得ました。

次に財団セミナーに移行し、松原次期地区ロータリー財団副委員長から地区ロータリー財団について、天内次期地区財団補助金委員長から地区補助金について説明を受け、さらに出村第 1 地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐（PG）によるグローバル補助金・地区補助金について、ロータリーアクトの皆さんも参加し、会場全体がダンスをしながら理解を深めました。

次に米山セミナーに移行し、嵯峨公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事（PG）からロータリー米山記念奨学会の誕生秘話を伺い、続いて、三浦次期地区米山記念奨学・学友委員長から地区米山奨学事業についてと 2 名の米山奨学生から報告を受けました。

最後は古野ガバナーエレクトによる閉会の挨拶と点鐘により、無事 2 日間の全日程を終了しました。最後に万全な準備を進めて下さったホストクラブの札幌東 RC の皆様、ガバナー事務所の寺島さんをはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





## 第2回ロータリーフェローズワークショップ報告

国際ロータリー第2510地区  
ロータリーフェローズ委員会

委員長 **鄭 子龍**  
(札幌モーニング RC)

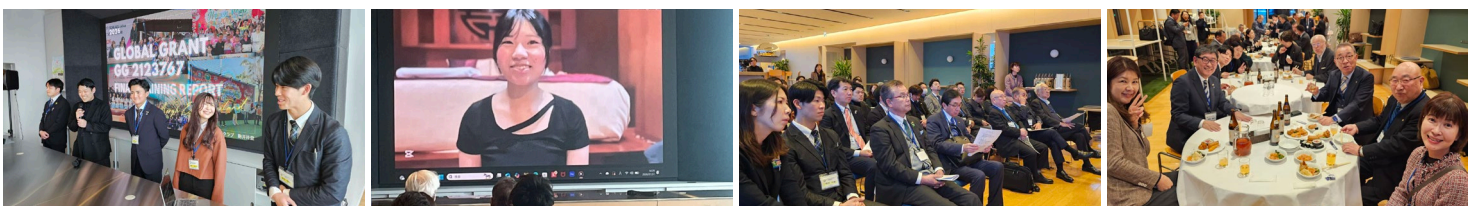
2026年1月31日(土)に、当委員会の最大行事であるロータリーフェローズワークショップを開催しました。以前の「学友交流体験・帰国報告会」から、より幅広いプログラムのロータリーが支援する全てのフェローズを対象に名称と報告スタイルを新たに、今回が2回目となります。会場は、大通公園を眼下に見下ろせるエフロクマル「天空のラウンジ」、折しも札幌雪祭り開催直前で、ほぼ完成した大雪像や会場全体を見ることができました。



青少年交換プログラムから ROTEX3 名、そしてタイに滞在中の川奈野楓葉さんのビデオレター報告。RYLA セミナーからは、後藤委員長と2回プログラムに参加した米山奨学生のシン・カリンさんのプレゼンテーションが「プログラム全体がよく理解できた」「自分も RYLA セミナーに参加してみたいと思った」と、来場者から好反応。続いて米山記念奨学生のス・ピエ・チョウさんの2年間の報告、中国に昨年帰国した米山学友の余麗さんからのロータリーへの感謝の気持ちが溢れた近況報告は、米山奨学生プログラムがいかに素晴らしく、人材育成に大きく貢献していることを改めて感じました。ローターアクト報告では、当日の大雪の影響で残念ながら参加できない人もいましたが、チームプレーでグローバル補助金事業などスケールの大きな活動報告をしてくれました。財団奨学生プログラムからは、現在派遣中の3名が多忙な研究生活中にもかかわらず、フランス、アメリカそれぞれの滞在中の様子を報告。また、派遣候補生も芸術と政治学をテーマとした研究内容について、熱く語ってくれました。今回初の試みで、ロータリーフェローズ委員である大泉青少年奉仕委員長、阿部インターアクト委員長、藏重青少年交換委員長、そして北海道医療大学 RAC カウンセラーの箕輪先生にご登壇いただき、フェローズ全体の今後の展望や現状の課題、目標などをお話いただきました。東京から駆けつけてくれた、日本ロータリー学友会幹事の杉浦藤一郎さん(東京あけぼの RC)が、地区ごとの違いや全国に共通する問題点などをご提示くださり、他地区との交流にも興味が募りました。

盛りだくさんな内容で、様々なプログラムへの理解を深め、興味が沸き、また「ロータリアンになって良かった」と思っていただけのような、学びの多いワークショップになったのではないかと、自負しております。今後の課題点なども明確になりましたので、委員長の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

多くのフェローズの皆様、ロータリーフェローズ委員の皆様、ご参加いただいた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。



## 第 10・11 グループ合同インターシティーミーティング (IM) 開催の報告



国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度  
第 10 グループ ガバナー補佐

**堀田 剛史** (函館 RC)



国際ロータリー第 2510 地区  
2025-2026 年度  
第 11 グループ ガバナー補佐

**吉村 昭夫** (函館東 RC)

2026 年 3 月 14 日、函館国際ホテルにおいて、第 2510 地区第 10・11 グループの合同インターシティーミーティング (IM) が開催されました。今年度のテーマを「公共イメージの向上が造るロータリーの未来」と決めました。IM 本会議の参加者は 160 名を超え、懇親会の参加者も 130 名を超えました。

玉井清治ガバナー、大日向豊吉パストガバナー並びに、地区役員の皆様にご参加いただきました。グループ内クラブの合同例会開催の後、IM が開催され、実行委員長による開会の言葉、堀田ガバナー補佐の挨拶の後、玉井ガバナーにもご挨拶いただきました。

そして、公共イメージ向上委員会の小川有積委員長に、「公共イメージ向上が導く会員増強」を演題としてお話をいただき、講演の後には第 10・11 グループの各クラブの代表者が登壇して、小川委員長のファシリテーションで、各クラブの公共イメージの取り組みが発表されました。

公共イメージ向上とは、ロータリーがロータリー以外の方から、評価され、信頼されて、共感してもらって、ロータリーへの参加意欲を向上させることであり、そのためには、発信力を強化したり、パートナーシップを拡大したり、参加しやすい環境を作ったりすることが大切であることが参加者に共有されました。

また、普段知る機会の少ない他クラブの活動を知ること、自らのクラブの活動にフィードバックできるようなきっかけにもなりました。

引き続き、合同懇親会も開催されました。

玉井ガバナーの祝杯で始まった懇親会では、第 10・11 グループの 10 クラブが、垣根を越えて懇親を深め、楽しい時を共に過ごすことができました。ロータリアンがサクスを演奏するバンドの生演奏があったり、イリュージョンマジックショーやテーブルマジックが披露されたりして会場の雰囲気は最高潮に盛り上がりました。そして、その後行われたバルーンアートのチャリティーオークションと募金では、ポリオ根絶活動へ、皆様から 15 万円を超えるご寄付が集まりました。最後の「手に手つないで」では会場が一つになって参加者の皆様が笑顔で会を締めることができました。

第 10・11 グループ各クラブの会員の皆様、誠にありがとうございました。無事に合同例会、IM、合同懇親会を終了する事が出来ましたことに深く感謝申し上げます。





## 「米山記念奨学生終了式」報告

国際ロータリー第 2510 地区  
地区米山記念奨学・学友委員会

委員長

**三浦 信一**  
(札幌清田 RC)



3月8日、国際ロータリー第 2510 地区 2025 学年度米山奨学生修了式・カウンセラー感謝状授与式を実施させていただきました。今年の修了者は 15 名。国籍は、中国、韓国、マレーシア、インドネシア、スリランカです。1年から2年に及ぶ奨学期間を修了できたことも、ロータリー会員の皆様、特に世話クラブ・カウンセラー様の御理解と御協力によるものとあらためて感謝致します。

修了式では修了者各自から、奨学期間中の感想、今後の進路、抱負等が発表され、ロータリー関係者からは奨学生への激励の言葉が述べられました。修了者の中には、大学を首席卒業し、日本人以外で初めて卒業生総代となった奨学生もおり、奨学生の修了後の進路も北海道内外への進学、就職と様々ですが、奨学生は修了後も米山学友として、ロータリークラブとの関係と続けていくこととなります。

米山奨学制度は、奨学金の交付のみでなく、世話クラブ・カウンセラーを介してロータリーの会員と積極的に交流し親交を深め、ロータリーの精神を陶冶し、日本人、日本を知悉し、日本と諸国との交流の仲立、架け橋となることを奨学生に求めています。米山奨学生は奨学期間を終えることによって終わるのではなく、米山学友として新たにその出発点に立ちます。米山学友こそ、米山奨学制度の意義目的からして、本当の始まりと言ってもよいのではないかと思います。奨学生修了者からなる米山学友会は日本国内のみならず、世界各地で設立し活動しており、自国へ留学してくる日本人学生への奨学金支給を実施している学友会もあり、また、自国においてロータリークラブの会員となり、ロータリー活動に励んでいます。

今年の修了者も、これから学友としての役割を果たしていくべく、そのように支援していくのも米山委員会の役割と考えています。

最後に、2025 学年度修了生の世話クラブを紹介し、修了式・感謝状授与式の報告とさせていただきたいと思えます。

江別 RC、当別 RC、札幌 RC、札幌北 RC、札幌西北 RC、札幌手稲 RC、札幌清田 RC、札幌幌南 RC、札幌真駒内 RC、札幌南 RC、札幌ライラック RC、新札幌 RC、伊達 RC、室蘭東 RC、函館 RC



## 2025-26年度第23回RYLAセミナー開催のご案内

国際ロータリー 第2510地区  
2025-26年度

定員  
**21名**  
対象20~30歳

# 第23回 RYLAセミナー in 洞爺湖財田キャンプ場

登録料10,000円(推薦クラブ負担) 申込メ切 2026/4/20(月)

国際ロータリー第2510地区によって実施される、若者のためのリーダーシッププログラムです。

セミナー実施日

# 2026.5.15(金) ▶ 17(日)

主なセミナー内容

講話、グループディスカッション、野外レクリエーションなどを通して、青少年のリーダーシップを養成。

体験談



普段関わることのない他業種の方々と寝食を共にし、貴重なレクリエーションを体験する中で、新たな自分を発見し、自信に繋がりました。多くの学びが得られる機会ですので是非皆さんにも体験してほしいです。

2024 小樽 RYLA セミナー参加 アリ 更紗



セミナーではリーダーシップについて深く考えることができても勉強になりました!また普段経験することのない体験をすることができてとても楽しかったです。皆さんも機会があれば是非参加してみてください!

2024 小樽 RYLA セミナー参加 矢部 佑紀

スケジュール

18:00 開校式  
ガバナー・会長挨拶  
18:30 ウェルカムパーティ  
チーム分け

1日目  
6:45 ラジオ体操  
7:00 朝食  
9:00 ジオパーク散策  
12:00 昼食  
13:00 卓話  
14:00 アクティビティ  
16:00 入浴  
18:00 夕食  
19:15 カウンシルファイア  
19:30 グループワーク  
22:30 ロータリアンの夕べ

2日目  
7:00 ラジオ体操  
7:15 朝食  
8:30 卓話  
9:00 フォーラム準備  
9:30 フォーラム発表  
11:00 昼食  
12:30 閉校式  
13:00 終了



開催場所

洞爺水辺の里 財田キャンプ場  
北海道洞爺湖町財田6番地

google Map ▶



活動の様子はこちら  
You tube ▶



**Rotary**  
Rotary International  
District 2510

【主催】 国際ロータリー第2510地区RYLA委員会  
【お問い合わせ】 第2510地区ガバナー事務所  
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階  
TEL:011-207-2510 FAX:011-207-2512  
【緊急連絡先】 RYLA委員長 後藤広隆 090-1641-0678  
gotohyouho119@sweet.ocn.ne.jp



国際ロータリー第2510地区 2025-26年度  
**第23回青少年指導者養成プログラム (RYLA)**  
**RYLA参加申込書** [登録料:10,000円/人]

フリガナ		(西暦)	年	月	日生:	歳
氏名		男・女	問合せ先 ロータリークラブ			
住所	〒 (郵便物が到着する住所を記入)				携帯電話	
緊急連絡者氏名		続柄	緊急連絡先TEL			
メールアドレス(必須) ※Zoom対応アドレス						
勤務先 or 学校名						
RYLA参加経験	あり(第 回、年)・なし					
※ <b>食物アレルギーのある方</b> は、詳細にご記入ください。						
※選考の際の参考といたしますので、応募動機をご記入願います。						
※ご質問やご要望がございましたらご記入願います。						

上記の者を、国際ロータリー第2510地区第23回RYLA受講生に推薦いたします。

年	月	日
クラブ名	ロータリークラブ	
会長名(署名)	携帯電話番号	

RYLA委員会記入欄	RC記入
受付 年 月 日	受付番号
	受講料

### ロータリアン参加申込欄

所属クラブ名	ロータリークラブ
会員名	携帯電話番号
メールアドレス ※Zoom対応アドレス	

※ご記入いただいた情報はRYLA関連の連絡等のみに使用し、その他の目的に使用されることはありません。  
 ※推薦ロータリークラブは、会長の承認署名後、第2510地区ガバナー事務所へFAXにて、お申込み下さい。

**FAX送信先 011-207-2512** [申込メ切:4月20日]

※後日、参加受付書・参加ご案内書類等を参加者ご本人に郵送いたします。

**振込先 北海道信用金庫 本店営業部001 普通4364406 ライラインカイ**

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

札幌 R C	加藤 欽也	会員	(2回)	2月27日
札幌 R C	中村 雅臣	会員	(2回)	2月27日
札幌西北 R C	西岡 憲廣	会員	(6回)	2月27日
札幌手稲 R C	曾我 千鶴	会員	(3回)	2月25日
札幌清田 R C	高橋 宣充	会員	(4回)	2月24日
札幌南 R C	橋本 耕二	会員	(11回)	2月27日
札幌南 R C	財部 朗	会員	(3回)	2月27日
札幌南 R C	武部 實	会員	(7回)	2月27日

### 米山功労クラブ

札幌南 R C	56回	2月27日
---------	-----	-------

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

伊達 R C	栗本 茂生	会員	(3回)	2月6日
--------	-------	----	------	------

### ポール・ハリス・フェロー

伊達 R C	太田 亮	会員		2月6日
伊達 R C	吉村 亮輔	会員		2月6日
森 R C	山崎 真護	会員		2月25日

# 地区公共イメージ向上委員会より

Instagram × Rotary 2510地区

RI第2510地区公式

## Instagram

各クラブの奉仕活動を  
投稿！

＼ フォローをお願いします ／

RID2510HOKKAIDO

rid2510

### 地区公式Instagramを クラブの情報発信や広報活動にお役立てください

地区公共イメージ向上委員会では、幅広い年代の方々にロータリーの活動を理解していただくことを目的に「Instagram」のアカウントを作成しました。

地区内の各クラブでの奉仕活動などのアクションを是非地区Instagramを使っての情報発信、広報活動に活用してください。

対外的な奉仕活動の写真（1～5枚）や簡単な活動紹介文（概ね200字以内）を下記の「地区公共イメージ向上委員会」専用Eメールアドレスにお送りください。内容を確認させていただきInstagramに投稿させていただきます。

地区公共イメージ向上委員会専用Eメール

2510koukyou@gmail.com

### SNS活用ガイドラインを作成しました

地区公共イメージ向上委員会では、昨今クラブや地区でFacebookやInstagramなどのSNSを広報活動のひとつとして活用されていることを踏まえ、皆さんが安心して積極的にSNSを活用できるように「国際ロータリー 2510地区 SNS活用ガイドライン」を作成しました。ぜひ各クラブでSNSでの情報発信にこのガイドラインをご活用ください。

ガイドラインはこちら





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol. 312

2026年3月13日  
発行

## 1 奨学生からロータリー会員へ — 二人の歩み —

奨学期間終了後、多方面で活躍する米山学友たちの中で、300人を超える米山学友がロータリー会員となっています。その中で、第2620地区富士宮RCに入会した青山チャリットさん（2006-08/静岡日本平RC）と、第2530地区いわき平RCに入会したソータイさん（2012-13/いわき平RC）のメッセージをご紹介します。

### 【青山チャリットさん】



奨学生時代、スリランカの子どもたちへの文房具贈呈プロジェクトを世話クラブの皆さまと実現できた経験が私の原点です。この経験は、その後米山学

友会でスリランカ支援活動を続けることにもつながり、奨学生時代に蒔いていただいた「支援の種」がその後の活動へと広がっていることが嬉しいです。ロータリーに入会してからは、「地域や社会のために何ができるか」を常に考えるようになりました。視野も広がり、物事をより長期的・多角的に捉えるようになりました。日々の仕事や行動でも、「誠実さ」と「社会への貢献」を意識するようになったことが大きな変化です。

多くの方に支えられた経験を胸に、今度は自分が誰かを支える側として地域社会や社会課題の解決に取り組み、信頼されるロータリー会員へと成長していくことが今後の目標です。

### 【ソータイさん】



ロータリー会員の皆さまの卓話は、奨学生当時の私にとって貴重な学びの機会でした。それぞれの分野で活躍されながら社会や平和のために尽力されている姿

に深い尊敬の念を抱き、いつか自分もロータリーの一員になりたいと思うようになりました。その思いから、ロータリーへの入会を申し出ました。実際に入会できたことを大変光栄に思うとともに、人生の大きな夢の一つが叶ったと感じています。

これからはロータリー会員としての自覚と責任を持ち、地域社会への貢献に取り組んでいきたいと考えています。また、諸先輩方から多くを学びながら人とのご縁を大切に、これまでいただいたご支援への感謝を胸に、社会や地域、そして平和のために少しでも役に立てる存在になれるよう努力していきたいです。

## 2 寄付金速報 — やや回復傾向に —

前年同期比

-3.3%

普 +1.5% 特 -5.8%

2月末までの寄付金は前年同期と比べて3.3%減（普通寄付金:1.5%増、特別寄付金:5.8%減）、約3,460万円の減少となりま

した。皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。

来月以降は、新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

### 第2610地区米山学友会 20周年記念式典開催のご案内

- ◇2026年5月16日（土）13:30 開始予定
- ◇会場：金沢ニューグランドホテル 金扇
- ※17日に能登復興支援活動見学・視察開催予定

※申込期限は **4月30日（木）** まで※

詳細はこちら



### 3 地域の子ども食堂を支援 第2620地区米山学友会

2月21日、第2620地区米山学友会が山梨市の「こども食堂 風の子イートステイ」を訪問し、子ども食堂支援の寄付を行いました。米山学友3人を含む計5人が参加しました。



炊事器具とお米を寄付しました。当日は施設スタッフによる活動紹介の後、同学友会の孫麗<sup>ツンレイ</sup>会長（2012-14／大阪なにわRC）から熊谷朋子代表へ目録が贈呈されました。

同学友会ではこれまで、スリランカやベトナムの子どもたちへの海外教育支援に取り組んできました。今年は日本の子どもたちにも貢献したいとの思いから、子ども食堂への支援を検討し、柳場文彦地区学友委員長の紹介で同施設を訪問。活動や運営への理解を深めたうえで支援を決定しました。その後、地区大会で募金活動を行い、集まった支援金で

熊谷代表は、「子ども食堂の活動は地域の支えによって成り立っており、このようなご支援は大変励みになります」と感謝を述べました。孫会長は「実際に施設を訪問し、子ども食堂が子どもたちの大切な居場所となっていることを実感しました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる活動を続けていきたい」と語りました。

### 4 タイ米山学友会総会開催 新会長選出

2月21日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、米山学友とロータリー会員ら43人が参加しました。

総会は会長のペチニン ナレスさん（1994-96／越谷RC）の挨拶で始まり、活動報告、会計

報告が行われました。その後、次年度会長選挙が行われ、同学友会の設立に携わったインタラチット ヌンヌットさん（2006-07／横浜鶴見北RC）が会長となることが決定しました。

### 5 「温かな支えを力に、夢へ」奨学期間終了者インタビュー

米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出す3月。今回は、張佳文<sup>チョウカブン</sup>さん（2025-26／東京立川こぶしRC）に、米山奨学生として過ごした1年間を振り返っていただきました。

#### 【張佳文さん】

例会に初めて参加したとき、皆さんが温かく接してくださり、拙い日本語にも丁寧に耳を傾けてくださいました。その経験から、いつか自分もこの場にふさわしい大人になりたいと思いました。印象に残っているのは、バーベキュー例会です。音楽を聴きながら食事を楽しみ、子どもたちと日本の遊びをしました。日本の方々

の日常の中に自然に入れたように感じた時間でした。ロータリー会員の皆さんとの交流を通して、人との関わり方や相手を尊重する姿勢の大切さを学びました。カウンセラーの横川みどりさんは、いつも親身に支えてくださり、日本での生活を支える心強い存在でした。

将来は、アジアから世界へ発信できるウエディングドレスや礼服のブランドをつくるのが夢です。卒業後は企業で経験を積み、夢を形にしていきたいと思っています。



#### モンゴル米山学友会 総会開催

■開催日時：5月5日（火）15:30～17:30（現地時間）

※オンライン 16:30～18:30（日本時間）

■会場：CONTINENTAL HOTEL

※申込期限は3月25日（水）まで※

詳細はこちら



## 第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉 RC）

私は第1地域 行動計画推進リーダー（APC）として、各地区、クラブまでロータリーの「行動計画（Action Plan）」を浸透させるべく携わってまいりました。本稿では、行動計画を各クラブ単位まで確実に浸透させるサポートをするための「クラブサポートミーティング」について触れてみたいと思います。



ここ数年で社会環境や会員の価値観は大きく変化しました。コロナ禍を経て、例会の形態、参加動機、奉仕のあり方が多様化しています。国際ロータリーが掲げる「より大きなインパクトをもたらす」は、単なる会員数の増加だけでは達成できません。

継続性・適応力・包摂性を兼ね備えたクラブ運営が求められており、クラブサポートミーティングは各クラブの運営や課題を支援したり、具体的に相談したりする定期開催の会合です。

クラブサポートミーティングには、大きく分けて3つの目的があります。

### 1. 現状把握と課題共有

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数などの定量データと、参加意欲や満足度といった定性情報を可視化します。

### 2. 戦略的支援の提供

単発の助言に留まらず、3年目標（3-Year Rolling Goals）など中長期の視点でクラブの成長計画を共に描き、年次レビューで柔軟に修正します。

### 3. 成功事例の横展開とリソース連携

有効な施策を他クラブへ展開し、人的・物的リソースを最適に配分することで、地域全体のインパクトを高めます。これらを通じて、地区・地域組織は「数字だけを追う管理者」ではなく、クラブの伴走者として機能することが期待されます。

次に、ミーティングで扱うべき具体テーマと進め方についてまとめてみましょう。

- ベースラインデータの確認

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数、参加者属性を共有し、クラブごとの現状を共通認識にします。

- 3年ローリング目標の策定支援

会長、会長エレクト、会長ノミニエを交え、定量的な3年目標と年次KPIを設定します。

- パイロット施策の設計と評価

小規模で試行し、データと参加者フィードバックで改善するサイクルを回します。

- 若手・多様層の参加促進

衛星クラブやローターアクトとの連携、柔軟な例会形態の導入など、包摂性を高める具体策を検討します。

- 広報と可視化

成功事例を地域内外に発信し、参加機会を増やすための広報支援を行います。

運営のポイントとしては、事前に簡潔なデータシートを配布し、ミーティングは「診断→提案→合意→実行計画」の流れで進めることです。年次レビューの結果は次年度計画に必ず反映させることが重要です。

既存クラブの文化や価値観を短期間で変えることは容易ではありません。そこで、衛星クラブやローターアクトクラブの創設は、包摂性を実現する有力な手段です。若年層や多様な背景を持つメンバーを受け入れ、彼らの力で地域課題に取り組んでもらうことで、ロータリー全体のブランドと地域インパクトを高められます。既存クラブは支援と連携を通じて新たな価値を共創できます。

今年度から定期開催されているガバナー主催のクラブサポートミーティングは、単なる報告会ではなく戦略的支援の場として活用してください。ガバナーや地域リーダーには次の役割を期待します。

- 戦略提案者：クラブごとの3年目標設計を支援する。
- 調整者：地域内のリソースや成功事例を結びつける。
- 伴走者：実行段階での課題解決を共に行う。

数字は重要ですが、数字を生むための「仕組みづくり」と「人の巻き込み」がより重要です。ガバナーや地域リーダーの戦略的な関与が、クラブの自律的な成長を促します。

クラブサポートミーティングは、地域とクラブが互いに学び合い、実行力を高めるための貴重な機会です。まずはベースラインの整理と3年目標(3-Year Rolling Goals)の共有をお願いします。必要であれば私が説明会に伺い、実務的な支援を行います。皆さまのご協力と積極的な参加を心よりお願い申し上げます。

## 第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 長戸 はるみ（横浜東 RC）

ポリオ根絶活動に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

ロータリーの友 2月号に「参加して良かったポリオ根絶活動」との特集がロータリー公共イメージコーディネーターと共同特別企画として掲載されました。全国から届いたポリオ根絶関連の投稿の中、当地区の亀ヶ谷純子さん（横浜港北RC）の手記が取り上げられています。亀ヶ谷さんはロータリーの友 地区代表委員としてもご活躍され、2017年以来インドにおける4回のワクチン投与活動に続き、現在はパキスタンでの活動に毎年参加されています。「参加して良かったポリオ根絶活動」と冒頭に掲げ、「チームポリオジャパン（任意団体）」に参加し、忘れられない出会いに感謝します。」と述べられています。



亀ヶ谷さんのご体験から特にパキスタンのポリオワーカーであるフーマさんのことをご紹介致します。先の記事にフーマさんと亀ヶ谷さんご一緒の写真が掲載されています。彼女は仕事中に列車事故に遭い、不幸にも両足を失いました。写真では義足を装着して車椅子に座っていますが、それでもなおポリオワーカーやポリオ根絶活動に復帰したいとの固い意志をお持ちです。フーマさんが義足を用い、日常生活を一日でも早く取り戻せるよう私も願って止みません。

チームポリオジャパン事務局の永田雄治さん（West Jordan RC）に依れば、彼女を日本に招いての診察と義足の提供、リハビリを経て、再びヘルスワーカーとして復帰するための計画が目下進行中とのこと。お母様とご一緒の来日になるそうですので、是非皆様からのご支援をお願い申し上げます。入院と診療はチームメンバーの前田直俊さん（坂出東 RC/整形外科医）が奉仕、病院費用や義足はチーム内でカンパを集め、ポリオワーカー復帰にかけたフーマさんの夢を共有し、力強く後押しする輪が始まりました。

他に当地区の中川俊彦さん（横浜西 RC）と、今回初めて谷川公一さん（横浜西 RC）がパキスタンでのポリオ投与活動に参加されました。

谷川 GN は「ポリオ投与活動とは別に展開されている『水』の確保に関する支援と組み合わせることで、現地の理解と信用を得て行く手法は手堅い効果を期待できる。また現地、約 23 万人のポリオワーカーに要する人件費からも、ポリオ根絶がいかに大きな国際事業であるのかを改めて実感させられた。」と仰います。

ポリオ根絶の趣旨を理解し、ポリオ月間に限らず支え続ける意義をロータリー会員は忘れないでください。引き続きパキスタンとアフガニスタンでのポリオ根絶活動に更なるご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

## ロータリーにおける公共イメージ向上とブランドリソースセンターの活用

### 第3 地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 笹山 義弘（加治木 RC）

ロータリーの活動は、地域社会や世界に対して多くの価値ある奉仕を生み出しています。しかし、その活動が十分に知られていない場合、社会からの理解や共感、そして新しい仲間を得る機会を失ってしまう可能性があります。だからこそ、いま「公共イメージの向上」はロータリーにとって極めて重要なテーマとなっています。

公共イメージとは、単に広報を行うことではありません。ロータリーがどのような理念を持ち、どのような奉仕を行い、社会にどのような価値を提供しているのかを、分かりやすく、統一された形で社会に伝えていく取り組みです。これにより、地域社会の信頼と理解を高めるだけでなく、将来の会員となり得る人々にロータリーの魅力を伝えることにもつながります。

そのために重要となるのが、ロータリーのブランドを正しく理解し、統一感をもって発信することです。ロータリーは世界的な組織であり、国や地域が違って共通の理念と価値観を共有しています。そのイメージを社会に対して一貫した形で発信することが、ロータリー全体の信頼性を高めることにつながります。



この取り組みを支える有効なツールが、My ROTARY 内にある「ブランドリソースセンター」です。ブランドリソースセンターには、ロータリーのロゴの正しい使用方法、ポスターやチラシ、SNS 用の画像素材、広報ツールなどが豊富に用意されています。これらを活用することで、各クラブが専門的なデザイン技術を持たなくても、ロータリーらしい統一された広報物を作成することが可能になります。例えば、例会案内、奉仕活動の告知、地域イベントへの参加案内などにブランドリソースセンターの素材を活用することで、視覚的にも「ロータリーらしさ」が伝わり、社会に対して信頼感のある発信ができます。また、SNS やホームページでの情報発信においても、ブランドの統一はロータリーの認知度向上に大きく寄与します。

ロータリー公共イメージコーディネーターおよび補佐としては、各クラブの皆様はこのブランドリソースセンターの活用を積極的に推進し、ロータリーのブランドを大切にされた情報発信を広げていきたいと考えています。具体的には、ブランド活用の理解を深めるための研修や資料提供、実際の広報物作成の支援などを通じて、クラブの広報活動をサポートしていくことが重要です。



ロータリーの価値ある活動を、社会に正しく、そして魅力的に伝えることは、未来のロータリーをつくる大切な一歩です。一人ひとりの会員が「ロータリーの顔」であるという意識を持ち、ブランドを意識した発信を行うことで、ロータリーの公共イメージはさらに高まり、地域社会とのつながりも一層強いものとなるでしょう。

今こそ、My ROTARY のブランドリソースセンターを活用し、クラブ全体でロータリーブランディングを推進していくことを提案いたします。

## 2月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.2.28	増減	内女性
1	深 川	3	28	29	1	2
	羽 幌	3	33	31	-2	2
	留 萌	2	22	23	1	4
	小 計		83	83	0	8
2	赤 平	2	20	19	-1	3
	芦 別	2	27	27	0	1
	砂 川	4	41	40	-1	2
	滝 川	2	82	81	-1	7
	小 計		170	167	-3	13
	美 唄	2	21	21	0	2
3	江 別	4	32	35	3	2
	江 別 西	1	31	29	-2	1
	岩 見 沢	2	89	95	6	2
	岩 見 沢 東	2	9	9	0	0
	栗 沢	2	13	13	0	0
	栗 山	3	22	23	1	4
	当 別	2	27	26	-1	3
	小 計		244	251	7	14
	4	札 幌	2	105	126	21
札幌はまなす		2	27	29	2	3
札 幌 北		2	31	33	2	6
札幌モーニング		2	34	32	-2	0
札 幌 西		2	44	45	1	9
札 幌 西 北		2	28	29	1	4
札 幌 手 稲		3	31	31	0	3
小 計			300	325	25	29
5	札 幌 東	2	95	95	0	2
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	3	59	59	0	6
	札 幌 真 駒 内	2	18	18	0	5
	札 幌 南	2	74	76	2	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新 札 幌	2	19	23	4	6
	小 計		298	304	6	30
6	岩 内	2	30	30	0	1
	倶 知 安	2	34	33	-1	4
	小 樽	4	73	75	2	5
	小 樽 南	3	49	51	2	5
	小 樽 銭 函	2	10	10	0	1
	蘭 越	2	7	7	0	0
	余 市	3	38	39	1	4
	小 計		241	245	4	20

## 2月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,304人(203人)
増加会員数	55人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.2.28	増減	内女性
7	千 歳	3	78	76	-2	11
	千歳セントラル	2	41	42	1	9
	恵 庭	3	41	45	4	4
	北 広 島	2	18	17	-1	3
	長 沼	3	16	16	0	3
	小 計		194	196	2	30
8	え り も	2	16	15	-1	1
	三 石	2	10	10	0	0
	様 似	2	5	5	0	1
	静 内	2	55	53	-2	5
	浦 河	2	21	23	2	3
	小 計		107	106	-1	10
	9	伊 達	2	53	51	-2
室 蘭		2	26	26	0	4
室 蘭 東		4	29	28	-1	2
室 蘭 北		2	45	45	0	1
登 別		4	31	30	-1	2
洞 爺 湖		2	11	9	-2	0
小 計		195	189	-6	11	
10	函 館	4	66	69	3	5
	函 館 亀 田	2	29	29	0	3
	森	2	30	31	1	2
	七 飯	3	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	26	26	0	2
	小 計		174	178	4	12
11	江 差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	2	46	53	7	2
	函 館 東	2	32	35	3	5
	北 斗	4	12	12	0	0
	小 計		100	110	10	7
12	白 老	2	28	31	3	4
	苫 小 牧	4	57	61	4	4
	苫 小 牧 東	4	30	30	0	9
	苫 小 牧 北	3	28	28	0	2
	小 計		143	150	7	19
合 計		2,249	2,304	55	203	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名(内女性会員1名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数4名(内女性会員2名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数6名(内女性会員0名)を含む

## 地区カレンダー 4月・5月

4月 環境月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第4・5グループIM(札幌)
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	第2グループIM(砂川)
26 (日)	RLIセミナーパートⅢ
27 (月)	クラブ活性化セミナー(横浜)～28日
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

5月 青少年奉仕月間	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	憲法記念日
4 (月)	みどりの日
5 (火)	子どもの日
6 (水)	振替休日
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	第8グループIM(えりも)
10 (日)	RLIセミナー卒後コース・修了式(札幌)
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	第23回RYLAセミナー(洞爺湖)～17日
16 (土)	第12グループIM(苫小牧)
17 (日)	第1グループIM(羽幌)
18 (月)	札幌北RC創立55周年記念式典
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	当別RC創立50周年記念式典
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	第7グループIM(北広島) ローターアクト第53回地区大会/赤平RAC創立50周年記念式典
31 (日)	

## 事務所移転のお知らせ

### 札幌清田ロータリークラブ

2026年4月10日(金)より下記の住所に移転いたします。

#### 【移転先住所・連絡先】

〒062-0020

札幌市豊平区月寒中央通 6 丁目 2-16

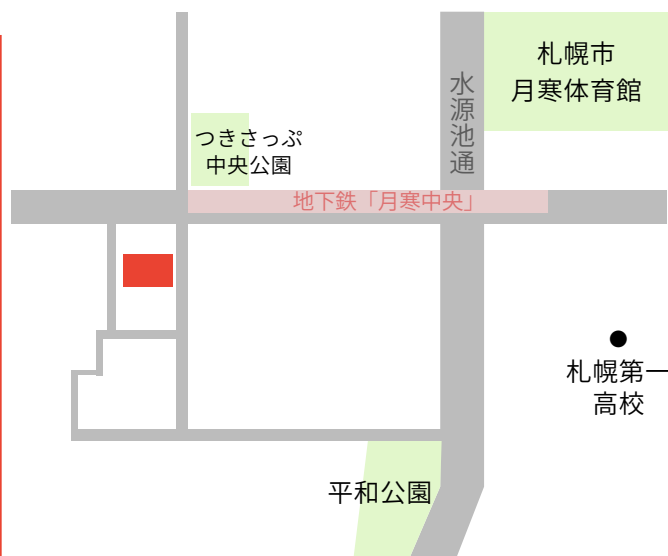
株式会社 真鍋造園 内

TEL : (011) 851-8028

FAX : (011) 851-8202

MAIL : sapporokiyota.2510rc@gmail.com

※メールアドレスに変更はございません。



## ガバナー事務所からお願い

### 1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようにお願い致します。

### 2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

### 3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい)

### 4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)